

『Niche（帝王切開癒痕）を意識した標準帝王切開術』更新情報

(2024.06.26)

- ① p. 70 1行目の文章(太字下線部)を以下のとおりに変更し、更新します。

【追加前】

2020年5月から当院主導で、barbed suture を用いた予定被験者数 200例の多施設共同ランダム化比較試験 (jRCT1062200001「Spiral糸を用いた帝王切開創部の子宮癒痕部菲薄化予防の検討～従来型の縫合糸とのランダム化比較試験～」)⁴⁾ に取り組み、近日中には新知見を報告させていただきます。

↓

【正】

2020年5月から当院主導で、barbed suture を用いた予定被験者数 200例の多施設共同ランダム化比較試験 (jRCT1062200001「Spiral糸を用いた帝王切開創部の子宮癒痕部菲薄化予防の検討～従来型の縫合糸とのランダム化比較試験～」)⁴⁾ に取り組み、帝王切開創部の菲薄化予防に、2層連続縫合におけるBarbed Sutureの使用は、従来糸の編糸吸収糸に比べ約40%のnicheの出現を予防することが示唆された⁵⁾。

- ② p. 74 【引用・参考文献】最終行に、5) を追加します。

5) Maki J, et al. Barbed versus conventional sutures for cesarean uterine scar defects: A randomized clinical trial. Am J Obstet Gynecol MF. 2024 In Press.

以上